

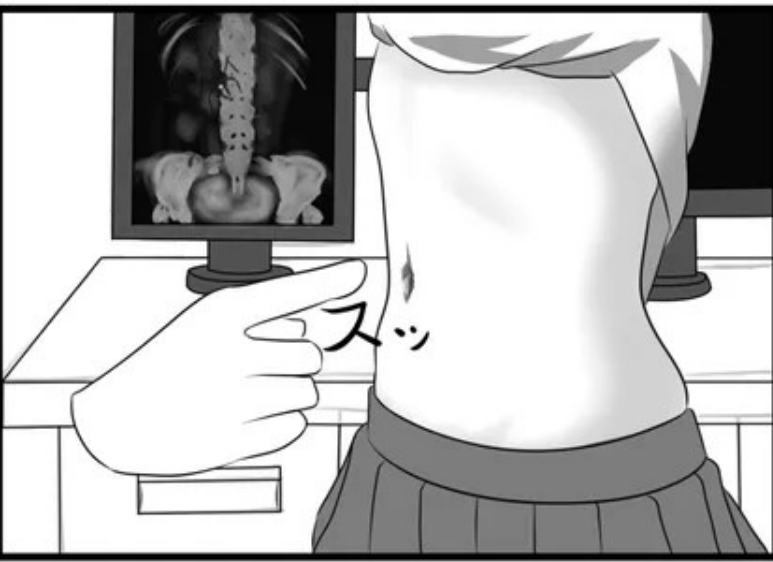
や、白河君
僕は嬉しいよ
また実験に付き合ってくれて

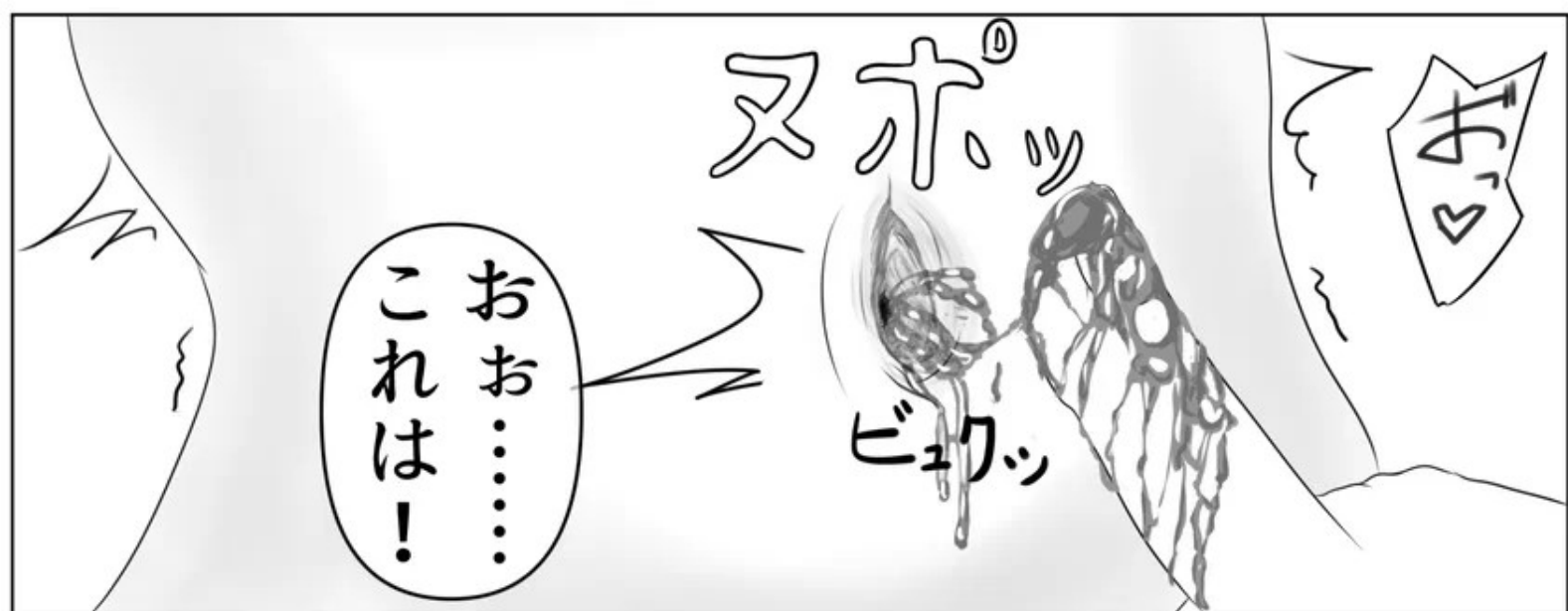
しらかわ
白河
ななせ
七瀬

ねえ、あの虫ダイジヨブなの？
何とも無いのが逆に怖いんだけど……

大丈夫、心配いらさないさ
健康に被害の無いモノだからね
さ、今日も始めようか

う……わかってるわよ
……乱暴にやらないでよ？





まあいいや、本題に触れよう
以前君の臍に入った虫——
通称「ヘソムシ」と言ってるね、
コイツに寄生された宿主は
色んなメリットがあるんだ
君の臍に開いた穴が回復したのも
この恩恵のおかげって訳



飼ってホーホ

キミが腹に飼ってるヤツね

どうでもいいから
はよこの虫取れや

ああ、今ヘソムシは
君と同期中だから無理に
取ると廃人になるよ

ウツソだろ!?

まあまあ
害も無いんだし
時期が来たら
取ってあげるさ

ギョー!

余談だがヘソムシの
分泌液、通称「臍蜜」——
これが一部の好事家に
えらい人気でね……



君みたいな少女の臍蜜は
特に希少価値が高いんだ

だから白河君……

君の臍蜜をツ！
採取させてもらおうツ！

ガバツ

ツ！？

グリッ

ぐふうっ……何するんだい？
実演しようとしただけ
なのに……

だから乱暴すんなって
あとそのヘンな機械、何？

ズモモモモ…

説明しよう！
これは身体から
臍蜜を良い具合に
抽出する機械なのだツ！

説明雑ツ！

君にも売り上げの
一部を譲るから、ね？

何割くれんの？

2割でど

5割

3割

5割

くうう、
わかったよ

現金払いでヨロ

トホホ、
守銭奴め……



んで、具体的に
どうすればいいの？

ああ、ベッドに仰向けで
服をはだけてくれるかい？

うん

ギン

臍に先端を挿入するから
指で広げていてくれると
助かるかな

ん……わかった

……これでいい？

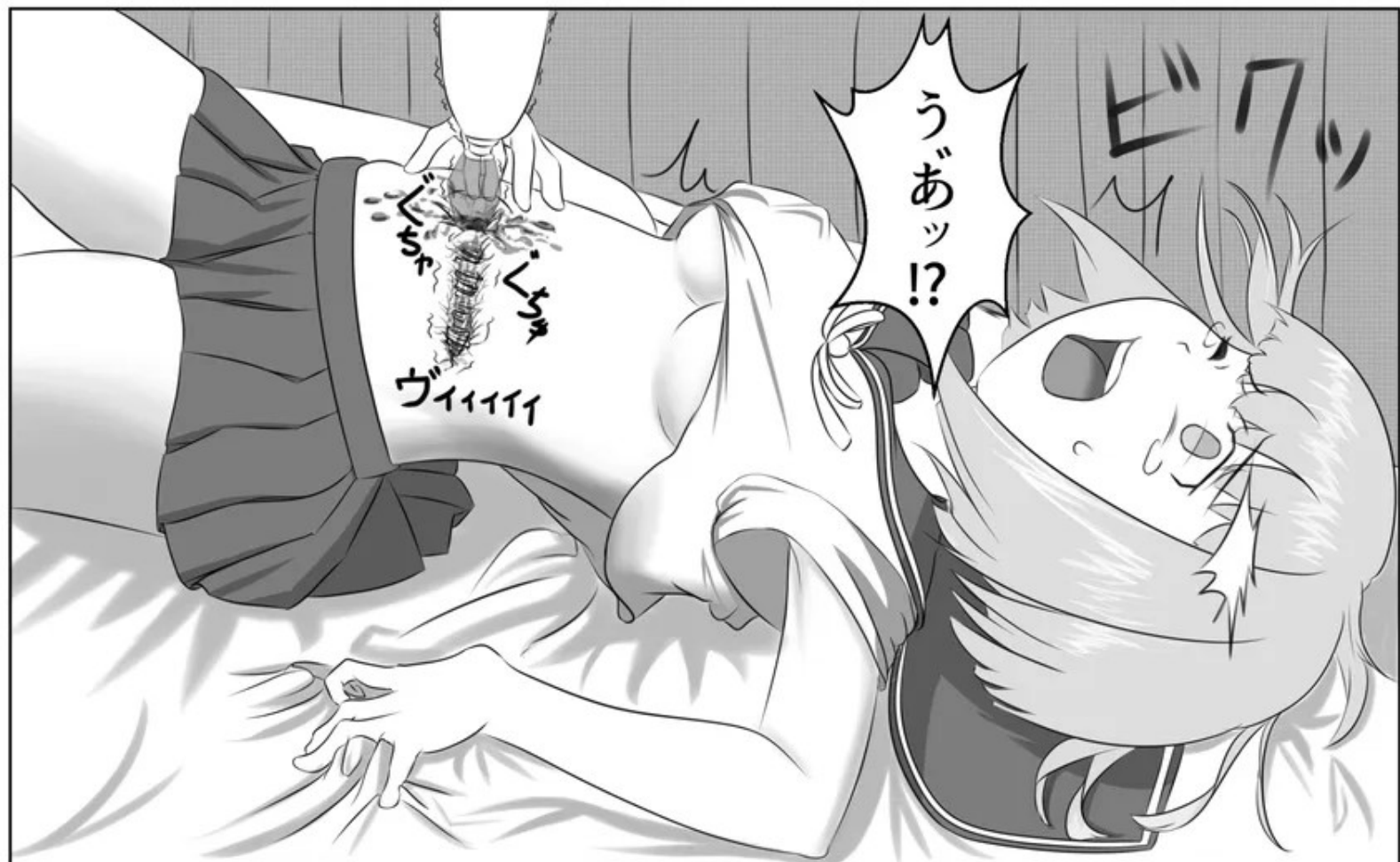
グイッ

くはぁ

ああ、いいね
そのまま力を抜いて

ちよつとチクツと
するからね……

くっ

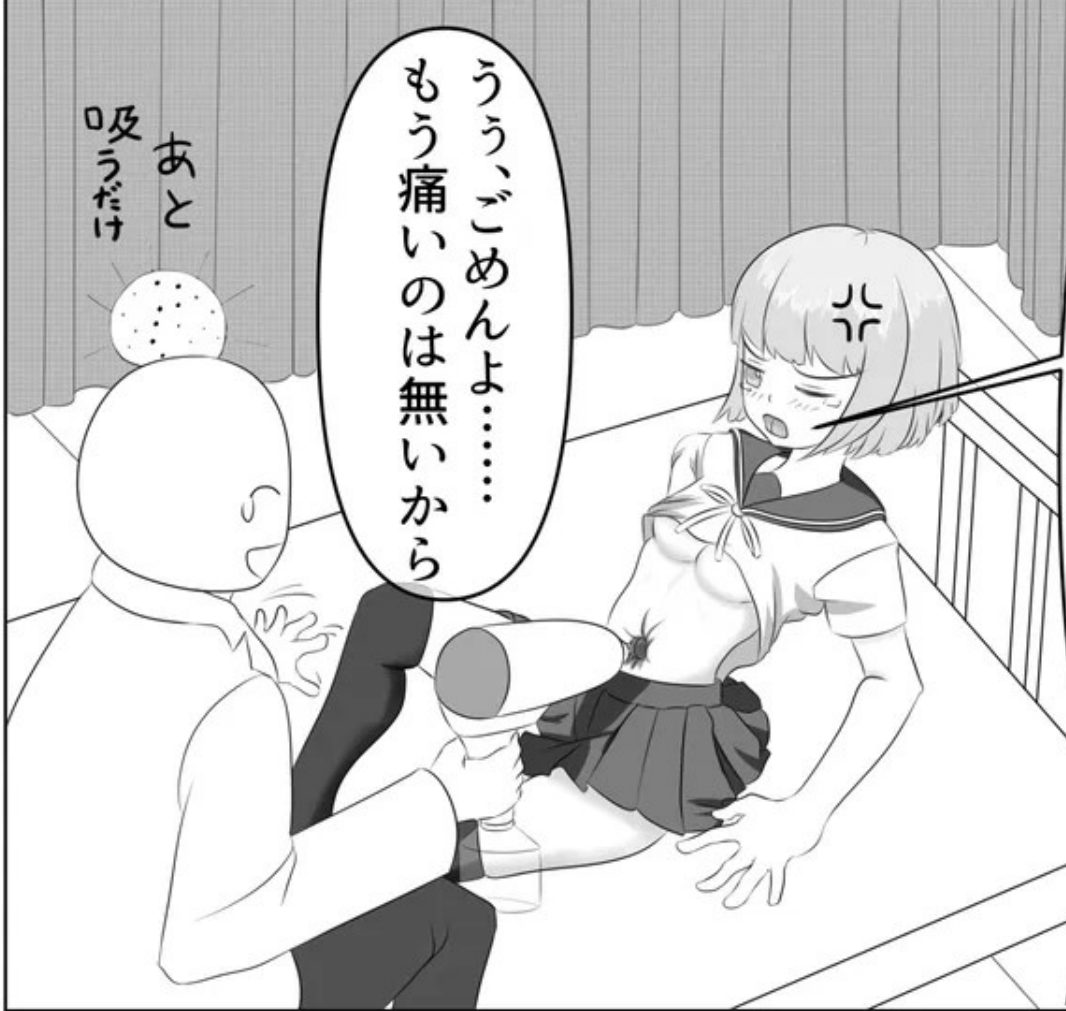


—15分後—

いい加減にしなさいよ？
死ぬとこだったんですけど！
何か言うことある？

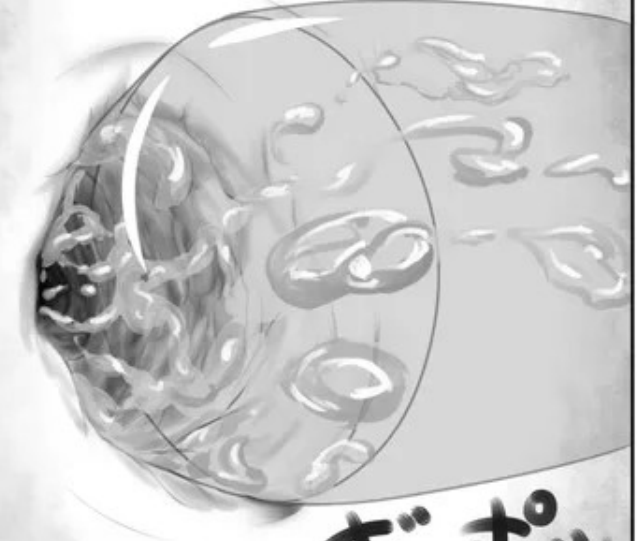
うう、ごめんよ……
もう痛いのは無いから

あと
吸うだけ



ギュッポ

んッ！
何か……
ビリビリする……ッ



ギュポッ

ゴッ..

トッオ...

んツ……

ぬぽっ

お疲れ様
よく頑張ったね、偉いぞ

あーしんどかったー

でももう傷も
塞がったろう？

へ？

え……ウソ……
もう治ってる……？

おや、おめでとう白河君
蜜線が形成されたね

何それ

くはぁ…

トロオ…

君自身が臍蜜を分泌出来る
ようになったという事さ

やだ……
なにそれこわい

という訳で早速
搾りたてホヤホヤの
コイツで営業
してくるよ！

☆☆
スコー☆☆

ほげーッ！
仕事早過ぎイッ！

fin



しらかわ ななせ
白河 七瀬

報酬に釣られて博士の元で
怪しげな実験の助手(実験台)のバイトをしている。
博士にヘソムシを入れられ、半不死身となった。

本人は身体に害がない為、あまり気にしていない様子。



ヘソムシ

臍から人体に侵入し、体液を^{すす}啜る寄生虫。
身体から甘い蜜の様な体液——「臍蜜」^{へそみつ}を分泌する。
また、宿主と自分とを同期する習性を持つ。
同期された宿主は様々な能力が発現する。
発現する能力については不明な点が多い。



はかせ
博士。

博士